



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL http://www.keyware.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,917	△6.7	△246	—	△246	—	△261	—
28年3月期第2四半期	7,416	2.2	△278	—	△267	—	△308	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △405百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △334百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△31.42	—
28年3月期第2四半期	△37.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,179	5,419	66.3
28年3月期	9,963	5,840	58.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 5,419百万円 28年3月期 5,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	10.7	500	689.3	420	227.6	370	454.8	44.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	9,110,000株	28年3月期	9,110,000株
29年3月期2Q	748,899株	28年3月期	799,599株
29年3月期2Q	8,336,718株	28年3月期2Q	8,258,059株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(受注の状況)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、力強さを欠くものの、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。なお、企業収益は高い水準にありますが、円高の進行や海外経済の弱まりの影響を受け、改善に足踏みがみられました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、経済産業省が発表した平成28年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、6月と7月の売上高は前年同月比で2ヵ月連続の微減となりましたが、8月は前年同月比4.0%と増加に転じました。また、売上高全体の半分を占める「受注ソフトウェア」も同様に、6月と7月は前年同月比で2ヵ月連続の微減となりましたが、大企業および中堅企業のソフトウェアに対する投資意欲は底堅く、8月は前年同月比で2.6%と増加に転じました。

このような状況のもと当社グループは、3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」の基本方針である「既存事業の収益性向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備、改革」に取り組みました。「既存事業の収益性向上と安定化」につきましては、先進的な技術革新によりITを活用した利用者の利便性向上が期待できる金融分野や同じく生産性向上などの期待が高まっているERP分野に注力するため、開発体制の強化をはかるとともに、最大の課題である不採算プロジェクトの抑制に全社一丸となって取り組んでまいりました。「ポートフォリオの多様化」につきましては、農業ICT、医療・ヘルスケア領域に引き続き取り組むとともに、新事業である「バーチャルサポートセンター(VSC)※」を積極的に推進いたしました。「経営基盤の整備、改革」につきましては、社員のスキル向上、活力アップとして、次のプロジェクトリーダーを担う社員を対象にプロジェクトマネジメント力向上に向けた研修を継続的に実施するとともに、プロジェクトマネジメントに関する国際資格であるプロジェクトマネジメント・プロフェッショナル(PMP®)の取得を当第2四半期においても積極的に推進し、今期は新たに16名が取得し、取得者は合計122名となっております。また、若手社員のローテーションを戦略的かつ積極的に行っており、様々な業務を経験させることで、マルチな業務ノウハウの蓄積に取り組んでいます。

※ バーチャルサポートセンター(VSC)：

業務プロセスからではなく、対象者の業務内容を現状から更に付加価値の高いものへとダイナミックに組み替えていく手法

以上のような状況により、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は6,887百万円(前年同期比1,336百万円減、16.2%減)、売上高は6,917百万円(同498百万円減、6.7%減)、営業損失は246百万円(前年同期は278百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は261百万円(前年同期は308百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は4,499百万円(前年同期比536百万円減、10.7%減)、売上高は4,516百万円(同244百万円減、5.1%減)、営業損失は73百万円(前年同期は9百万円の損失)となりました。

金融系、メディア系において新規受注案件の獲得があったものの、官庁系、公共系、運輸系などにおいて、既存案件終了後の代替案件の不足などが響き、受注・売上高ともに前年同期を下回りました。損益面につきましては、収益性を意識した営業活動の推進ならびに不採算プロジェクトの抑制の徹底をはかったものの、売上高の減少による影響を払拭するまでには至らず、損失を計上する結果となりました。

#### ② S I 事業

受注高は1,557百万円(前年同期比911百万円減、36.9%減)、売上高は1,628百万円(同191百万円減、10.5%減)、営業損失は20百万円(前年同期は31百万円の損失)となりました。

ERP系、流通系などが堅調に推移したものの、機器販売主体のインフラ構築系大型案件があった前期に比べ、受注・売上高ともに減少いたしました。損益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減に伴い、前年同期から損失の縮小をはかることができました。

#### ③ その他事業

受注高は830百万円(前年同期比112百万円増、15.6%増)、売上高は771百万円(同63百万円減、7.6%減)、営業損失は36百万円(前年同期は180百万円の損失)となりました。

受注高につきましては、運用・保守等のサポートサービス事業の増加に加え、新事業として取り組んでいる農業ICT関連の受注獲得などにより、前年同期から増加いたしました。売上高につきましては、新事業以外の事業が

振るわず、前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、製品販売系の部門を中心に体制の見直しを行い販売費の削減を進めた結果、前年同期から損失の縮小をはかることができました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

### ① 流動資産

流動資産残高は、4,624百万円(前連結会計年度末比1,533百万円減、24.9%減)となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

### ② 固定資産

固定資産残高は、3,555百万円(前連結会計年度末比249百万円減、6.6%減)となりました。主な減少要因は、ソフトウェアの償却による減少、投資有価証券の減少であります。

### ③ 流動負債

流動負債残高は、2,280百万円(前連結会計年度末比1,037百万円減、31.3%減)となりました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少であります。

### ④ 固定負債

固定負債残高は、479百万円(前連結会計年度末比324百万円減、40.4%減)となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

### ⑤ 純資産

純資産残高は、5,419百万円(前連結会計年度末比421百万円減、7.2%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少、退職給付に係る調整累計額の減少であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,464百万円(前連結会計年度末比579百万円増、65.4%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失の計上(246百万円)、たな卸資産の増加(180百万円)、仕入債務の減少(204百万円)などがあつたものの、売上債権の減少(2,266百万円)などにより、1,681百万円の増加(前年同四半期は667百万円の減少)となりました。

### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(22百万円)などにより、23百万円の減少(前年同四半期は16百万円の増加)となりました。

### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純減(800百万円)、長期借入金の返済による減少(261百万円)などにより、1,077百万円の減少(前年同四半期は439百万円の増加)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成28年4月28日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社グループの売上高は、事業の性質からくる季節的変動により第4四半期連結会計期間に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期連結累計期間の売上高および損益の割合が低くなっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」の適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	885,320	1,464,718
受取手形及び売掛金	4,892,972	2,626,359
商品及び製品	51,287	42,642
仕掛品	124,985	314,212
その他	206,344	178,826
貸倒引当金	△2,889	△2,666
流動資産合計	6,158,021	4,624,093
固定資産		
有形固定資産	117,550	113,696
無形固定資産		
のれん	473,298	453,790
その他	443,910	397,910
無形固定資産合計	917,208	851,701
投資その他の資産		
投資有価証券	2,632,149	2,448,581
その他	139,021	142,107
貸倒引当金	△399	△399
投資その他の資産合計	2,770,771	2,590,289
固定資産合計	3,805,531	3,555,687
資産合計	9,963,552	8,179,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	770,566	565,951
短期借入金	800,000	-
1年内返済予定の長期借入金	476,666	539,238
未払法人税等	31,712	26,712
賞与引当金	560,793	532,728
その他	678,801	616,310
流動負債合計	3,318,540	2,280,941
固定負債		
長期借入金	676,166	351,667
資産除去債務	100,473	101,512
その他	27,525	26,293
固定負債合計	804,165	479,472
負債合計	4,122,706	2,760,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,713,774	3,409,350
自己株式	△258,351	△232,172
株主資本合計	5,699,898	5,421,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,417	21,749
退職給付に係る調整累計額	117,530	△24,035
その他の包括利益累計額合計	140,948	△2,286
純資産合計	5,840,846	5,419,367
負債純資産合計	9,963,552	8,179,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,416,306	6,917,450
売上原価	6,372,941	5,979,520
売上総利益	1,043,365	937,930
販売費及び一般管理費	1,322,216	1,184,835
営業損失(△)	△278,851	△246,905
営業外収益		
受取利息	1,194	7
受取配当金	1,258	1,195
助成金収入	4,897	9,256
持分法による投資利益	13,396	8,635
その他	28,774	1,785
営業外収益合計	49,522	20,879
営業外費用		
支払利息	11,885	9,760
支払手数料	25,383	7,555
その他	1,181	3,063
営業外費用合計	38,450	20,380
経常損失(△)	△267,779	△246,405
税金等調整前四半期純損失(△)	△267,779	△246,405
法人税等	41,196	15,505
四半期純損失(△)	△308,976	△261,911
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△308,976	△261,911

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△308,976	△261,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,863	△2,356
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,761	△140,878
その他の包括利益合計	△25,625	△143,234
四半期包括利益	△334,602	△405,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△334,602	△405,146
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△267,779	△246,405
減価償却費	81,206	76,067
のれん償却額	19,507	19,507
受注損失引当金の増減額(△は減少)	13,996	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△222
受取利息及び受取配当金	△2,453	△1,202
支払利息	11,885	9,760
持分法による投資損益(△は益)	△13,396	△8,635
売上債権の増減額(△は増加)	△195,411	2,266,613
たな卸資産の増減額(△は増加)	△314,154	△180,582
その他の資産の増減額(△は増加)	△51,356	△1,486
仕入債務の増減額(△は減少)	67,357	△204,615
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,815	△28,064
未払消費税等の増減額(△は減少)	△143,584	△69,237
その他の負債の増減額(△は減少)	142,950	13,333
その他	△22,320	2,173
小計	△680,396	1,647,003
利息及び配当金の受取額	36,068	41,540
利息の支払額	△12,200	△9,780
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,232	2,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	△667,760	1,681,153
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,796	△3,600
無形固定資産の取得による支出	△24,275	△22,875
投資有価証券の売却による収入	53,262	6,537
その他	△6,039	△3,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,151	△23,800
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△800,000
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	△175,918	△261,927
自己株式の売却による収入	15,490	26,179
配当金の支払額	△21	△42,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	439,550	△1,077,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△212,058	579,398
現金及び現金同等物の期首残高	981,988	885,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	769,930	1,464,718

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	4,761,021	1,820,217	835,066	7,416,306	—	7,416,306
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	198,769	8,777	225,973	433,520	△433,520	—
計	4,959,791	1,828,995	1,061,039	7,849,826	△433,520	7,416,306
セグメント利益 又は損失(△)	△9,908	△31,602	△180,497	△222,008	△56,842	△278,851

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△56,842千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	4,516,843	1,628,767	771,839	6,917,450	—	6,917,450
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	130,092	364	216,899	347,355	△347,355	—
計	4,646,936	1,629,131	988,739	7,264,806	△347,355	6,917,450
セグメント利益 又は損失(△)	△73,670	△20,751	△36,260	△130,681	△116,223	△246,905

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△116,223千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発事業	4,499,240	△10.7	2,272,074	△8.6
S I 事業	1,557,267	△36.9	1,333,980	△16.2
その他事業	830,792	15.6	316,110	4.7
合 計	6,887,299	△16.2	3,922,165	△10.4

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。